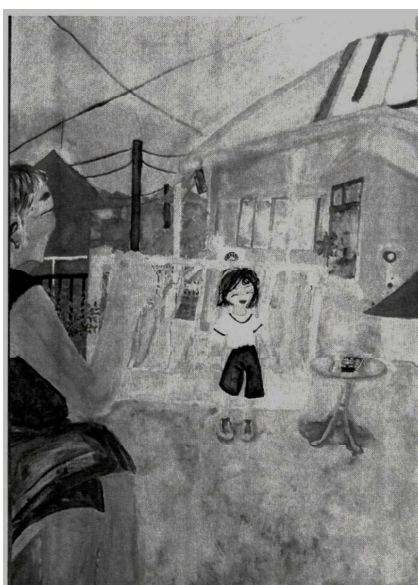


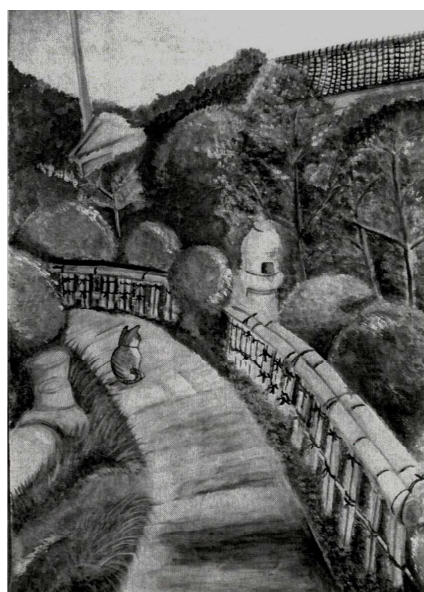
里庄町立 図書館ニュース



3年 田辺 夢奈



1年 古谷 美絆



1年 山下 栄太

絵 里庄中学校

第331号
令和2年12月

お知らせ

館内利用について

新型コロナウイルス感染拡大防止対策をして、ほぼ通常どおり開館しています。

来館者の皆様には、新型コロナウイルス感染拡大防止の趣旨をご理解いただき、次の点にご協力ください。

- ・マスクを着用する。
- ・せきや発熱等の風邪症状のある方は、利用を控える。
- ・入館時、自動体温測定器で体温測定をする。
- ・長時間の滞在は、控える。
- ・入館・退館の際には、手を消毒する。

「ふくちゃん 読書手帳」の利用を



読んだ本を記録するための読書手帳です。読書手帳をつければ、「この本読んだっけ?」「読んだ本だった!」「読んだ本が思い出せない!」などの悩みがなくなり便利です。読書手帳は、図書館カウンターにあります。

50冊、100冊読んだ人には、図書館オリジナルグッズをさしあげます。

「こどものへや」改装

「こどものへや」を改装し、幼児への読み聞かせに適した部屋にしました。そして、名前も「おはなしのへや」に変更します。併せて、授乳コーナーも整備し、授乳やおむつ替えもしやすくなりました。ぜひ、ご利用ください。

インターネットで里庄町立図書館のホームページを開いてみよう。

里庄町立図書館のホームページに蔵書検索機能があるのはご存じですか? 自宅にいながら、本やCDが検索でき、さらに現在貸出中かどうか分かります。その中でも特にお勧めするのが、朗読CDです。プロによる文学作品の朗読は一味違います。効果音もあり、臨場感があります。すでに活字で読

んだ方も、初めての方も、目の不自由な方も、読むのが苦手な方も、ぜひ一度、耳で聞く読書を楽しんでみてください。

「佐藤清明」特設サイトを開設

佐藤清明（1905～1998）は、日本で初めての妖怪事典を出版した里庄出身の博物学者です。また、佐藤清明の業績を研究するための団体「清明研究会」の活動の様子などをのせています。忘れられた知の巨人「佐藤清明」に興味のある方、ぜひご覧ください。

お 願 い

図書館の本は町民みんなの財産です。

大切に扱ってください。

無断で持ち出さないでください。

返却期限を守ってください。

万一、壊れたり、破れたりしたときは、自分で直さないで、返却時に職員にお知らせください。

図書館利用バリアフリー運動

里庄町立図書館では、すべての人に気持ちよく、安心して利用していただくために、施設や設備にさまざまな心配りがなされています。玄関のスロープ、エレベーター、車椅子用のトイレ、駐車スペース、幼児用のトイレ、ベビーベッド、低い書架等です。この他に、車椅子や、老眼鏡も用意しています。気軽に図書館員に申しつけてください。

バリアフリーの精神を生かすためには、まわりの人の心づかいが大切になります。玄関前のレンガ敷きの所や、スロープの近くに自転車やバイクを置かないようにしてください。自動車は決められた枠の中に駐車してください。

よろしくお願いいたします。

行事予定・・・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合があります。

◎ 12月 特設展示（クリスマスの本展）

1日（火）休館日

2日（水）特別展「池田厚子様と佐藤清明ゆかりの菊桜展」～27日（日）
こもれび作品展～24日（木）

押し花「ふしぎな花クラブ」 12：00～16：00

3日（木）英会話講座 昼の部 13：00～14：10

4日（金）エルマーの工房 13：30～

- 3 -

11日(月)
12日(火) **休館日**
13日(水)
14日(木) 英会話講座 昼の部 13:00～14:10
15日(金) エルマーの工房 13:30～
16日(土)
17日(日) **休館日**
18日(月) **年賀状傑作展 ～25日(月) 10:00～18:00**
ただし、日曜日は9:00～17:00
19日(火) **休館日**
20日(水)
21日(木) 英会話講座 昼の部 13:00～14:10
22日(金) エルマーの工房 13:30～
23日(土) おはなしトトロ 14:00～
24日(日)
25日(月)
26日(火) **休館日**
27日(水)
28日(木) 英会話講座 昼の部 13:00～14:10
29日(金) エルマーの工房 13:30～
30日(土)
31日(日) **月末整理休館日**

展示・催し案内・・・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合があります。

◎特設コーナー 12月

場 所 カウンター前の特設架

内 容 クリスマスの本展

◎こもれび作品展

期 日 12月2日(水)～12月24日(木) 10:00～18:00

ただし、日曜日は、9:00～17:00

場 所 2階 展示室

内 容 こもれびの作品を展示します。

◎特別展「池田厚子様と佐藤清明ゆかりの菊桜展」

期 日 12月2日(水)～12月27日(日) 10:00～18:00

ただし、日曜日は、9:00～17:00

場 所 1階 ロビー

内 容 池田厚子様と佐藤清明の記念写真披露と菊桜の紹介。

◎おたのしみ会(クリスマス・パーティー)

期 日 12月12日(土) 14:00～15:00

場 所 2階 視聴覚室

対 象 幼児 ～ 一般

定 員 30席(定員になりしだい締切)

参加申込 参加希望の方は、参加申込書を図書館まで、お持ちください。
その他 参加者全員に、クリスマス・プレゼントがあります。

◎特設コーナー 1月

場 所 カウンター前の特設架

内 容 干支の本展

◎墨友会作品展

期 日 1月9日(土)～11日(月) 10:00～17:00

場 所 2階 展示室

内 容 里庄カレッジクラブ書道部の作品を展示します。

◎年賀状傑作展

期 日 1月18日(月)～25日(月) 10:00～18:00

ただし、日曜日は、9:00～17:00

場 所 2階 展示室 (南)

図書館ボランティア

(どなたでも参加できます。お手伝い下さい。)

◎おはなしボランティア「おはなしトトロ」

・日時 第2・4 土曜日 14:00～

・内容 読み聞かせ・パネルシアター・エプロンシアター・
ストーリーテリング・手遊びなどの練習、おはなし会やおはなし宅配便
への参加・実演。

◎手づくりボランティア「エルマーの工房」

・日時 毎週 金曜日(祝日を除く) 13:30～

・内容 おはなしのキャラクターやパネルシアター・エプロンシアターの作製。

趣味の会・学習会 新入会員募集中

◎組木の広場「木楽工房」

・日時 毎月第2日曜日 10:00～16:00

・内容 組木作製 *材料費実費負担

◎ちぎり絵教室「紙遊会」

・日時 毎月第2日曜日 9:00～16:00

・内容 ちぎり絵作製 *材料費実費負担

◎押し花「ふしぎな花クラブ」

・日時 毎月第1水曜日 12:00～16:00

・内容 おしぼな作品作製 *材料費実費負担

◎里庄歴史勉強会

・日時 毎月第4日曜日 13:30～15:30

・内容 近隣市町村の歴史研究 *資料制作費負担

◎清明研究会

日時 毎月1回 13:00～ 2時間程度

会場 里庄図書館 2階視聴覚室 その他

内容 佐藤清明についての研究、資料の整理など

新着本の案内

10月中旬から11月上旬に購入した図書の一部です。

大人の本

◎ 日本の小説

▽デルタの羊（塩田 武士：KADOKAWA）

アニメ製作プロデューサー・渡瀬は、SF 小説のテレビアニメ化に着手するが、業界の抱える「課題」が次々と浮き彫りになり、窮地に追い込まれ…。アニメに懸ける男たちの人生を描く。

▽スター（朝井 リョウ：朝日新聞出版）

新人の登竜門となる映画祭でグランプリを受賞した尚吾と紘。2人は名監督への弟子入りと YouTube での発信という真逆の道を選ぶ。作品の質や価値は何をもって測られるのか…。

▽この本を盗む者は（深緑 野分：KADOKAWA）

書物の蒐集家を曾祖父に持つ高校生の深冬は本が好きではない。蔵書が盗まれ、本の呪いが発動し、街は物語の世界に姿を変えていく。泥棒を捕まえない限り元に戻らないと知った深冬は…。

▽滅びの前のシャングリラ（風良 ゆう：中央公論新社）

1ヶ月後、小惑星が衝突し、地球は滅びる。学校でいじめを受ける友樹、人を殺したヤクザの信士、恋人から逃げ出した静香。そして。「人生をうまく生きられなかった」4人が最期の時までをどう過ごすのか

▽日没（桐野 夏生：岩波書店）

小説家・マッツ夢井に政府組織から召喚状が届き、彼女は断崖に建つ海辺の療養所へと収容される。「社会に適応した小説」を書けと命じられるが…。表現の不自由の近未来を描く、警世小説。

▽龍神の子どもたち（乾 ルカ：祥伝社）

都市開発の余波で地元派とニュータウン派に分裂した集落。夏休み、両派の中学生9人は林間学校に参加するが、土砂崩れに遭い…。次世代に語り継ぎたい、他人を思いやる物語。

▽命の砦（五十嵐 貴久：祥伝社）

新宿地下街で火災が発生。消防士の夏美は、消火作業を開始するが、延焼が拡大し人々は大パニックに。刻一刻と迫る大爆発の危機。夏美は都市を守れるか…!?

▽ママナラナイ（井上 荒野：祥伝社）

この世に生を享け、大人になり、やがて老いるまで。ままならぬ心と体を描いた美しくも不穏な、極上の物語。表題作のほか、「静かな場所」など全10編を収録。

▽犬がいた季節（伊吹 有喜：双葉社）

ある日、高校に迷い込んだ子犬。生徒と学校生活を送ってゆくなかで、その瞳に映ったものとは。昭和から平成、そして令和へ。いつの時代も変わらぬ青春のきらめきや切なさを描く。

▽鳩護(はともり)（河崎 秋子：徳間書店）

ひとり暮らしのベランダに突然、真っ白な鳩がきた。椿が面倒を見はじめて数日後、謎の男から「お前は俺の次の「鳩護」」との宣告を受けた。混乱する椿。白鳩は椿の日常を侵食していき…。

▽八月の銀の雪（伊与原 新：新潮社）

コンビニのベトナム人店員が就活連敗中の理系大学生に見せた驚きの姿、シングルマザーが聞いた深海の話、原発の下請け会社を辞めて一人旅する男…。科学の揺る

ぎない真実が人知れず傷ついた心を救う 5 篇の物語を収録。

▽夜明けのすべて（瀬尾 まいこ：水鈴社）

PMS(月経前症候群)でイライラが抑えられない美紗は、パニック障害で生きがいの気力も失っている山添に当たってしまう。だが、おせっかい者同士のふたりは…。暗闇に光が差し込む、心に優しい物語。

▽白野真澄はしょうがない（奥田 亜希子：東京創元社）

「白野真澄」という同じ名前を持つ者の、五者五様のわだかまりと秘密。生きることと少し不器用で頑固な 5 人を、優しい眼差しで掬い上げる短編集。

▽焼餃子（蜂須賀 敬明：双葉社）

首相暗殺に失敗した陸軍中尉グンゾーは、究極の食べ物「ギョーザ」を世に広めるため、中国大陆を旅する。戦後、日本に帰還したグンゾーと仲間達は、それぞれの究極を目指して餃子屋を開き、三つ巴の熱き戦いが始まるが…。

▽だまされ屋さん（星野 智幸：中央公論新社）

秋代の家に、ある日謎の男が現れる。娘と家族になろうとしているという。これは新手の詐欺なのか、それとも歪んだ一家に福音をもたらす救世主か？ 家族のあり方や人々のつながり方を問う長編。

▽落葉の記（勝目 梓：文藝春秋）

純文学、ハードボイルド、私小説など、322 冊を上梓した孤高の作家による最後の作品集。亡くなる前日まで書いていた長編「落葉日記」をはじめ「ひとこと」など全 8 編を収録。

▽その果てを知らず（眉村 卓：講談社）

SF 黎明期、そして未来。今から 60 年以上前、文芸の道を志し、SF 同人誌等に作品を投稿し始めた会社員の浦上映生。会社員を続けながらの執筆はどのように続いていたのか。日本 SF 第一世代として活躍した眉村卓の遺作。

▽善医の罪（久坂部 羊：文藝春秋）

意識不明の重体だった男性を、主治医の白石は、家族の同意のもと尊厳死に導いた。3 年後、カルテと看護記録の食い違いが告発され、医療業界を揺るがす大問題へと発展。検察は彼女を殺人罪で起訴し…。現役医師による医療小説。

▽壺の中にはなにもない（戌井 昭人：NHK 出版）

26 歳の繁太郎は、人に気を遣うことができず、仕事でミスをくり返し、周囲からは疎まれている。だが陶芸家の祖父だけは、繁太郎の陶芸の才能を見出して…。

▽夢七日 夜を昼の國（いとう せいこう：文藝春秋）

交通事故で意識不明となり、長い眠りの中にいる君に、私は日々ささやきかける。君よ、目覚めよ。「夢七日」ほか、浄瑠璃で脚色されたお染がネットの中傷に立ち向かう「夜を昼の國」を収録。

▽カラ売り屋、日本上陸（黒木 亮：KADOKAWA）

カラ売り専用ファン드가狙いを定めたのは、巨大医療グループ、架空売り上げの疑いがある白アリ駆除会社…。窮地に追い込まれた企業は、株価を吊り上げようと画策するが…。

▽浅草迄（北野 武：河出書房新社）

舞台は戦後から高度成長期に沸く東京。初めての記憶から、オリンピックを経て、学生運動の気運高まる時代の中、新宿を彷徨っていた大学時代まで、北野武の原点を描く私小説。

▽きのうのオレンジ（藤岡 陽子：集英社）

33 歳の遼賀が受けた胃がん宣告。迫りくる死の恐怖の中で思い出すのは、15 歳の頃、弟の恭平と雪山で遭難したあの日のこと…。がん宣告を受けた<彼>と、彼を支える<

家族>の物語。

▽みがわり（青山 七恵：幻冬舎）

駆け出し作家の律は、ファンを名乗る女性から亡き姉の伝記執筆の依頼を受ける。その姉は、生前の姿形が律と瓜二つだったという。取材を進めるうち、姉妹の確執、家族の秘密が明らかになり…。

▽完全犯罪の恋（田中 慎弥：講談社）

40代後半、独身、恋愛経験は4度、それもここ数年途切れている。キャリアに行き詰った作家「田中」の前に、突然若い女が現れた。彼女は何者なのか…。著者はじめての恋愛小説。

▽彼らは世界にはなればなれに立っている（太田 愛：KADOKAWA）

<始まりの町>の初等科に通う少年トゥーレ。ドレスの仕立てを仕事にする母は、<羽虫>と呼ばれる存在。誇り高い町の住民は、他所から来た人を羽虫と蔑み、差別していた…。

▽とわの庭（小川 糸：新潮社）

帰って来ない母を<とわ>は一人で待ち続ける。<とわ>に力を与えてくれたのは、ピアノの音、手製の雑巾、犬のジョイ…。草木や花々、鳥の声。生命の力に支えられ、光に守られて生き抜く少女を描いた書下ろし長篇小説。

▽影に対して（遠藤 周作：新潮社）

両親が別れた時、少年の取った選択は生涯ついてまわった。完成しながらも発表されず、手許に残された「影に対して」を中心に、「雑種の犬」「影法師」「還りなん」など、母をめぐる書かれた著者の作品全7篇を収録。

▽いつの空にも星が出ていた（佐藤 多佳子：講談社）

高校の先生、家業の電気店を継いだ若者、少年野球のピッチャー、洋食店のシェフ。一見つながりのない人たちを結んでいる、強くてもっすぐな気持ち！ 熱くてかぎりなく純粋な、人生と応援の物語。

◎ **歴史・時代小説**

▽孔丘（宮城谷 昌光：文藝春秋）

母の死、息子との対立、老境の旅路…。「論語」に描かれる神格化された姿ではなく、不運や失意にも苛まれた人間・孔子の波瀾万丈を書いた大河小説。

▽天離り果つる国 上（宮本 昌孝：PHP 研究所）

金銀と、鉄炮火薬に欠かせない塩硝を狙う織田・上杉・本願寺…。飛驒白川郷の美しき山河と秘境の平和を守るため、軍師・竹中半兵衛の愛弟子と最強の姫武者が立ち上がる。

▽天離り果つる国 下（宮本 昌孝：PHP 研究所）

群雄の狭間で独立をめざす飛驒白川郷の帰雲城主・内ヶ嶋氏理。迫り来る豊臣軍を迎え撃つとき、驚天動地の出来事が…。秀吉・家康らが虎視眈々と狙うなか、天離る地の小国を守れるのか。

▽泣き娘（小島 環：集英社）

妹弟を養うため、性を偽り「哭女」として葬儀で泣くことを職にした燕飛は、様々な事件や謎に立ち向かいながら成長し…。中国・唐を舞台とする歴史青春ミステリー。

▽質草女房（渋谷 雅一：角川春樹事務所）

彰義隊に入った夫に、金が必要だと質屋に預けられた妻・けい。けいに興味を持った貧乏浪人・柏木宗太郎は、質屋から夫の搜索を頼まれ、逃亡先と考えられる会津へ。その最中、新政府軍の参謀・速水興平と行を共にすることに…。

▽くちばみ（花村 萬月：小学館）

油売りから成り上がり、「美濃の蝮」と畏れられた斎藤道三は政敵を次々に抹殺する。息子義龍の胸中には、父への嫉妬と憎悪が渦巻いて…。父子の相克を描く戦国大河小説。

▽戀童夢幻（木下 昌輝：新潮社）

妖にも似た魅力を持つ踊り手・加賀邦ノ介に、心をかき乱される森“乱”成利。その胸中を察した明智光秀は…。信長、家康ら戦国武将に対峙し、歴史を動かした、流浪の芸能者を描いた時代小説。

▽乱都（天野 純希：文藝春秋）

畠山義就、細川政元、大内義興、足利義輝…。応仁の乱から幕府崩壊まで、「京都」の魔性に取り憑かれ、天下人とならんとした男たちを描く連作集。

▽絶局（坂岡 真：小学館）

「信長公の首級は何処にある」 囲碁名人・本因坊算砂は、対局中の徳川家康からの問いに息が詰まり…。400年の謎に触れた若き日の本因坊算砂を描く歴史小説。

▽ニッポンチ！（河治 和香：小学館）

意地と我慢で明治の開化の世を押し通そうとした歌川国芳の弟子たち。彼らの生きざまを見届けた国芳の娘は、昭和の頃まで春画を描きながら生きたという。さらには<国芳の孫>の存在が…。

◎ 推理・ミステリー

▽銀齡探偵社（中山 七里：文藝春秋）

元高裁判事・静のかつての同僚たちが、次々と謎の死を遂げた。静は、経済界の重鎮である“車椅子の暴走老人”玄太郎とともに、事件の背後にある「悪意」の正体を追う。

▽五色の殺人者（千田 理緒：東京創元社）

高齢者介護施設で働くメイはある日、利用者の撲殺死体を発見した。五人が犯人と思しき人物を目撃するが、犯人の服の色についての証言は「赤」「緑」「白」「黒」「青」と、なぜかバラバラ。さらに、凶器も見つからず…。

▽眠れる美女（秋吉 理香子：小学館）

新設バレエ団の旗揚げ公演「眠れる森の美女」の主役に決まった客演のユリカ・アサヒナは我が儘で、嫉妬と反感から人間関係が軋んでいく。そして不気味な脅迫状が届き、連続殺人事件が起きて…。

▽揺籠のアディポクル（市川 憂人：講談社）

ウイルスすら出入り不能の無菌病棟<クレイドル>。ある大嵐の日、病棟は外界から隔絶されてしまう。2人きりの病室で、タケルと半人形のような少女コノハは不安と焦燥を胸に眠りに就く。そして翌日、コノハは死んでいた。

▽アウターQ（澤村 伊智：祥伝社）

癖の強すぎるスタッフが集うウェブマガジン「アウターQ」。エンタメサイトのはずなのに奇怪な事件を引き寄せてしまい…。新感覚ミステリー。

▽谷根千ミステリ散歩（東川 篤哉：KADOKAWA）

谷根千の路地裏にある、隠れ家的雑貨屋「怪運堂」。店主・竹田津の探偵の素質に気づいた女子大生・つみれが難事件を持ちこむと…。ゆるすぎる名探偵&迷推理女子による本格ミステリー。

▽霊能者たち（嶺里 俊介：光文社）

霊が人の身体を離れるときに起こるさまざまなトラブルを解決するため、人知れず命までかける霊能者たちの活躍を、ときに優しく、ときにユーモラスに描く連作ホラー・ミステリー集。

▽もしかしてひょっとして（大崎 梢：光文社）

損得を考えずに動いて、余計なトラブルやたくらみに巻き込まれて、お人好しが右往左往。誤解も悪意も呑み込んで、奇妙な謎を解き明かせ！ 6つの短編ミステリーを収録。

▽動物警察 24 時（新堂 冬樹：光文社）

動物保護を目的とする TAP に勤める璃々は、後輩の涼太や警察官の広大らとともに、動物虐待、多頭飼育崩壊などさまざまな事件を解決していくが、ついには TAP 存続に関わる事件が起き…。

▽首イラズ（岡田 秀文：光文社）

大正時代、警視庁に「華族捜査局」が新設された。公爵で局長の円香は、伯爵家で起きた毒殺事件に取りかかる。家督相続権争いと思われた矢先、円香たちの目の前に「生首」が現れ…。絢爛たる書下ろし大正時代ミステリー。

▽死の扉（小杉 健治：双葉社）

青年の死は「積極的安楽死」だったのか!? 担当医の起訴を悩む若き検事は、忌避してきた自身と過去と向き合うことになり…。長編検察ミステリー。

▽相剋（笹本 稜平：双葉社）

自殺として処理された腐乱死体。不審に思った宮野は独自捜査をはじめますが、何者かに襲われてしまう。鷺沼たちはカリスマ投資家の男に目を付けるが、その裏には政界の闇資金を巡る陰謀が…。

▽アンと愛情（坂木 司：光文社）

成人式を迎えるアンちゃん。大人になるには、まだ早い気がするけど、それでも時間は進むし、世の中は待ってくれません。おいしいおやつを食べて、前を向いて…。

▽コーチ（堂場 瞬一：東京創元社）

伸び悩む若手刑事のもとに警視庁本部から送り込まれる謎の男、向井光太郎。その助言で成長した3人の刑事は、向井との関わりを語り合い、過去を探り始める。そして、向井の過去と、3人が取り組む女子大生殺害事件が交錯し…。

▽湖の女たち（吉田 修一：新潮社）

琵琶湖近くの介護療養施設で、100歳の男が殺された。刑事と容疑者、出会うはずのない男女の人生が交差する。一方、事件を取材する記者は、死亡した男の過去に興味を抱き旧満州を訪ね…。

◎ ファンタジー

▽吹上奇譚 第3話 ざしきわらし（吉本 ばなな：幻冬舎）

吹上町の夏が終わり、引きこもりの美鈴がミミのもとを訪れた。「部屋の中に子どもの霊がいるんだ。いつも夜になると出てくる」生も死も、過去も未来も溶け合う吹上町に、新たな風が巻き起こる。哲学ホラー。

◎ エッセイ

▽見果てぬ花（浅田 次郎：小学館）

そう。旅は人生なのである。京都で遭遇した不思議な面々を描く表題作、北海道の名湯での驚きの体験を綴った「忘れじの宿」など、全41篇を収録。

▽人間の道理（曾野 綾子：河出書房新社）

平穏だけを望んで生きることにはできない、ウイルスを回避しすぎることが本質ではない、社会が決めたルールに同調する必要はない、「自分は不幸」という固定観念をなくす…。コロナ後の生き方を模索する人へのメッセージ集。

◎ 海外紀行・旅行記

▽わたしのもう一つの国（角野 栄子：ポプラ社）

ブラジルでの暮らしがなかったら、わたしは作家にはなっていなかった。若い頃、移民として渡り、思い出深い日々を過ごしたブラジルへ、20年後に娘と再び訪れた

ときの旅のエッセイ。

こどもの本

◎ 社会科

▽ケンさん、イチゴの虫をこらしめる (谷本 雄治：フレーベル館)

自然の仕組みも利用した IPM という新発想の取り組みで、「あまおう」栽培にかける夢を追いつける若き農業経営者のチャレンジを描いたノンフィクション。

◎ 仕事・職業

▽昔のお仕事大図鑑 (小泉 和子：日本図書センター)

和傘職人、駄菓子屋、蒸気機関士、電話交換手、炭坑夫…。明治・大正時代から昭和時代にかけてさかんだった 87 の仕事を、写真やイラストとともに紹介する。仕事についてより詳しく知ることができるコラムも掲載。

◎ 工作・あそび

▽e スポーツはじめて事典 1 (筧 誠一郎：文溪堂)

テレビゲームやパソコンゲームを使った競技「e スポーツ」の魅力を豊富な写真で解説。1 は、e スポーツの成り立ちや、世界の主な e スポーツ大会、e スポーツへの企業の注目度、e スポーツ専用の機器などを紹介する。

◎ 理科・自然科学

▽動物たちが教えてくれる海の中の暮らし (佐藤 克文：福音館書店)

広くて深い海を自由気ままに泳ぎまわる動物たちのくらしぶりを、人間は直接観察することはできない。動物に記録計をとりつけて海中の行動を調べるバイオロギングという手法と、それでわかった動物たちのくらしを紹介する。

▽クジラをめぐる冒険 (石川 創：旬報社)

クジラとはどんな動物で、人間との関わりにはどんな歴史があるのか。野生動物としてのクジラについて解説するとともに、著者が携わった南極海での調査を紹介。なぜ捕鯨問題が解決できないのかも考える。

▽ウイルスって何だろう？ (武村 政春：PHP 研究所)

生物に感染して増殖し、時には病気を引き起こし、時には生物の進化に深くかかわってきたウイルス。細菌とのちがい、コロナウイルス感染症の大流行…。「ウイルスとは何か」について、さまざまな感度からわかりやすく解説する。

▽絵でさぐる音・光・宇宙 (コリン・スチュアート：岩崎書店)

光のスピードや音の波。物理の法則を知ること、見えないものが見えてくる。宇宙や世界がもっとわかる！ スタイリッシュなイラストとグラフィカルなデザインで物理学に親しめる入門書。

◎ 生活

▽納豆の本 (宮崎 祥子：岩崎書店)

不思議なおいのする、ねばねばした納豆。そのはじまりや、素材・種類、大豆を納豆に変える納豆菌、アジアにおける納豆文化などについて、マンガや写真で楽しく解説します。納豆の作り方、納豆料理のレシピも紹介。

▽子どもを守る言葉『同意』って何？ (レイチェル・ブライアン：集英社)

キミがしようということに相手が賛成なら「いいよ=YES」と言う、それが同意。同意がもらえないなら、やめるんだ。暴力やイジメから自分を守り、人を傷つけないために、キミと友だちにとって大切なことを解説する。

◎ 日本の作品

▽おとうとのたからもの (小手鞠 るい：岩崎書店)

小学2年生のあおいは本が苦手。でも、弟の冬馬はいつも絵本を読んでいる。風邪をひいて寝込んでいる冬馬の手にも、やっぱり絵本が。あおいには、どうしてそんなに絵本が大切なかわからず…。姉弟のあたたかな物語。

▽フルーツふれんずブドウくん（村上 しいこ：あかね書房）

クラスみんなを注意する学級委員のブドウくん。でもそれは、入院しているおかあさんに話すため。それを知ったクラスみんなは…。友だちを思いやる心があたたかい物語。

▽くまのこのるうくんとおばけのこ（東 直子：くもん出版）

くまのこのるうくんは、たまたま出会ったおばけのこと、ぽんぽん山にのぼることに。途中の分かれ道で、おばけのこが「両方の道を行ってみようよ」と言ったので、ふたりは「てっぺんで会おうね」と約束し、別々の道を進むが…。

▽へんくつさんのお茶会（楠 章子：学研プラス）

ぽっこり山のふもとに一軒のおいしいパン屋さんがありました。店主は、とてもへんくつなおばあさんで…。小人や動物たちがやってくる、小さなパン屋のぬくもりあふれる物語。

◎ 推理・ミステリー

▽列車探偵ハル（M.G.レナード、サム・セッジマン：早川書房）

お絵かきと犬が大好きな11歳の男の子、ハル。旅行作家のナットおじさんと一緒に、王室列車「ハイランド・ファルコン号」の最終ツアーに参加するが…。豪華列車でおこる宝石どろぼうに、ハルが挑む！

◎ 外国の作品

▽ブラックホールの飼い方（ミシェル・クエヴァス：小学館）

ひよんなことから小さなブラックホールを飼うことになった、11歳の少女ステラ。このブラックホールは、嫌なものを何でも飲み込んで片付けてくれる。ところが、うっかり子犬まで飲みこまれてしまったから、さあ大変！

▽色どろぼうをさがして（エヴァ・ジョゼフコヴィッチ：ポプラ社）

12歳のイジーのママは事故で入院中。イジーはそれを自分のせいだと思っていた。そんなある日、イジーの夢に色どろぼうがあらわれ、部屋の壁画の色が1色ずつ消えていく。色どろぼうの正体と少女の罪悪感に隠された謎とは…。

▽ぼくの犬スーザン（ニコラ・デイビス：あすなろ書房）

ジェイクは、苦手なことが多くて、暮らしにくさを感じている少年。そんなジェイクが、偶然出会った犬とのふれあいをきっかけに成長していく姿を描いた、心あたたまる物語。

▽雪山のエンジェル（ローレン・セントジョン：評論社）

山岳ガイドの父と山に登ることが大好きだったマケナ。なのに、突然、両親は感染症のため帰らぬ人に。危機が迫るたび、マケナの前に、銀色のキツネがあらわれ…。

◎ 伝記・ノンフィクションよみもの

▽世界のすごい女子伝記（キャスリン・ハリガン：講談社）

エリザベス一世、フリーダ・カーロ、田部井淳子…。偉業を成し遂げた50人の女性の物語。彼女たちの生き方・言葉・行動を、カラーイラストや写真とともに紹介する。世界をよりよくするためのヒントが満載。

◎ ファンタジー・SF

▽夜の妖精フローリー（ローラ・エイミー・シュリッツ：学研プラス）

ある晩、美しい羽をもがれ、巨人(ニンゲン)の庭に落ちた夜の妖精フローリー。悲しみの中、目にした昼間の美しさに惹かれ、昼の妖精になろうと決意するが…。まっすぐな心で、世界を生きぬく妖精の物語。

◎ 日本の絵本

▽ねぎぼうずのあさたろう (飯野 和好：福音館書店)

山また山の中山道をゆく、ねぎぼうずのあさたろう。旅人・上州きねつき村の忠次と出会った、あさたろうは、悪い役人の手下たちに追われる忠次を助けて…。浪曲風チャンバラ絵本、完結編。

▽せとうちたいこさんふじさんのぼりタイ (長野 ヒデ子：童心社)

なんでもやってみたいタイのおかあさん、せとうちたいこさん。「ふじさんと友だちになりたーい」と、ふじさんまでやってきました。ふじさんと仲よくなったたいこさんは、ふじさんに登ろうと準備をはじめ…。

▽ほげちゃんとおともだち (やぎ たみこ：偕成社)

ひろくんの家に、ゆうちゃんと一緒に遊びにいったぬいぐるみのほげちゃん。ひろくんのおもちゃたちにちょっかいを出しますが、相手にされず…。

▽ねこはすっぽり (松田 奈那子：こぐま社)

「ごろりーん」と寝っ転がったり、「のびーん」と伸びたり、「ぴとーん」とがんばってウンチしたり…。自由でふくふくとした猫の姿を、のびやかな線と美しい色で描いた絵本。

▽野ねずみきょうだいの草花あそび (長谷川 直子：福音館書店)

イチヨウの落ち葉でつくるちょうちょ、スズカケノキの実のハリネズミ…。野ねずみきょうだいが、秋～春の身近な植物で楽しむ新しい草花あそびを紹介します。新鮮で美しく、作ってみたくなる約 20 種類の作品を収録。

▽サンタさん (長尾 玲子：福音館書店)

春の終わりに羊の毛を刈ったサンタさんは、その毛ではなちゃんのマフラーを作ります。マフラーが編み上がると、サンタさんはそれを袋に入れて出発し…。サンタさんのひたむきな愛情を、繊細な刺繍で描いた絵本。

▽スマイルショップ (きたむら さとし：岩波書店)

貯めたおこづかいを持って、町へ買い物にいった男の子。目を輝かせながら町を見てまわり、何を买おうか考えていました。ところが、ハプニングが起きて、コインが穴に落ちてしまいました。落ち込む男の子でしたが…。

▽みどりバアバ (下田 昌克：童心社)

花屋の店番が大好きで、大きくておいしいコロッケを作ってくれた、みどりバアバが死んだ。こうくんは涙が出てきたけれど…。バアバと向き合う男の子の気持ちを丁寧に描く。

▽ぼうしくんのクリスマスプレゼント (新井 洋行：KADOKAWA)

クリスマスの夜。ぽつんと置かれた、ぼうしくんのところへ、動物たちがやってきます。ぼうしくんは、動物たちにクリスマスプレゼントをあげることにしたのですが…。やさしい心を育むクリスマスの絵本。

▽ふみきりかんかんくん きょうはなんのひ? (武田 美穂：講談社)

踏切 3 兄弟はいつでも大活躍! 幼児が大好きな「踏切」が主人公の絵本第 2 弾。春夏秋冬を舞台にした 4 つの小さなお話と、まちがいさがしを収録。

▽曲垣平九郎 (五十嵐 大介：講談社)

家来たちに 186 段もある石段を馬であがり、梅の花を取ってくるよう命じた家光。応えたのは…。講談と「曲垣平九郎」、ものがたりの舞台である「出世の石段」についての解説も掲載。次世代に伝えたい講談のお話を描いた絵本。

▽雷電為右衛門 (いぬんこ：講談社)

江戸時代のすごい力士、雷電為右衛門。江戸っ子たちが注目するなか、初土俵をふむことに…。講談と「雷電為右衛門」、ものがたりの舞台である「回向院」について

の解説も掲載。次世代に伝えたい講談のお話を描いた絵本。

▽那須与一（宇野 亜喜良：講談社）

平家から、小舟の上の扇を射てみろと挑発された源氏。弓の名手・那須与一がそれに挑戦することに…。講談と「那須与一」、ものがたりの舞台である「屋島」についての解説も掲載。次世代に伝えたい講談のお話を描いた絵本。

◎ 昔話・神話・伝説

▽クリスマスの小屋（ルース・ソーヤー：福音館書店）

いつか自分の小屋をもつという夢を胸に前向きに働く娘オーナ。彼女が老いを迎えたある年のクリスマス、妖精たちはオーナに素晴らしい贈り物をして…。ストーリーテリングの名手が再話した、アイルランドの幻想的なおはなし。

◎ 外国の絵本

▽しあわせなときの地図（ズザンナ・セレイ：ほるぷ出版）

生まれてからずっと、この町で暮らしてきたソエ。でも戦争のせいで、家族と逃げなければなりません。町を出る前の晩、ソエはつくえに地図をひろげて、楽しいことがあった場所にしるしをつけてみました。すると…。

▽おとなのなかのこども（ヘンリー・ブラックショー：化学同人）

どんな大人にも、中には子どもがいるんだよ。大人の中の子どもは遊びたくってたまらないから、時々外に飛び出すんだ！ 大人が「おかしな」行動をするわけや子どもの心を持ち続けることの大切さを語った、心あたたまる絵本。

▽きみはどこからやってきた？（フィリップ・バンティング：KADOKAWA）

ものすごい奇跡が起きて、きみはいま、ここにいるんだよ。ビッグバンから今日までの 138 億年にわたる歴史を、専門的な科学用語や年代表記を使わずにやさしく紹介する絵本。

▽あの湖のあの家におきたこと（ブリッタ・テッケントラップ：クレヨンハウス）

湖のほとりにある小さな木の家。その家を建てた作者の曾祖父一家はナチスに追われ、その後に住んだ音楽家一家も徴兵を逃れ家を出る。戦後に暮らした家族は…。ベルリンに実在する家の変遷から戦争、分断の歴史を見つめる物語。

▽おばけのジョージ メリーメリークリスマス！（ロバート・ブライト：好学社）

クリスマスが大嫌いな気難しいグロームズさんの家に、幼い兄妹がやってきた。冷たい態度をとるグロームズさんだが、兄妹はサンタさんに手紙を書くことに。小さなやさしいおばけのジョージは、仲間たちと大奮闘して…。

▽ぼく、ひつじじゃなくてぶたなんだ（ミルヤ・プラーフマン：ほるぷ出版）

牧場にいるひつじたちの中に、「ぼくはこぶたなんだ！」というこひつじがいました。どろの中を転げまわるのが好きで、ブーブーと鳴きます。農家のおじさんが獣医さんにみせると…。自分らしさを問いかける絵本。

▽クリスマスツリーをかざろうよ（トミー・デ・パオラ：光村教育図書）

農園でクリスマスツリーにする木を切って、家に持って帰ってきました。それからクリスマスツリーにかざりつけをして…。クリスマスツリーに関する雑学を物語を通して紹介した絵本。天使のかざりのつくり方も掲載。

利用案内

開館時間

(12月1日～3月末まで)

▽ 午前10時～午後6時

(ただし、日曜・祝日は、午前9時～午後5時)

(4月1日～11月末まで)

▽ 午前9時～午後7時

(ただし、日曜・祝日は、午前9時～午後5時)

休館日

▽毎週 火曜日

▽毎月 第3日曜日

月末整理日(月末が火曜日等で休館の場合は、その前日を休館)

▽年末年始(12月28日～1月3日)

▽蔵書点検日(3月7日～13日)・年度末整理(3月31日)



里庄町立図書館キャラクター

里庄町キャラクター

ふくちゃん

& 里ちゃん

里庄町立図書館ニュース

No. 331 2020. 12. 1

岡山県瀬口郡里庄町里見2621

電話 0865-64-6016